

症例報告

タイトル：筋膜炎にて発症した顕微鏡的多発血管炎の1例

松島秀和

大場智広

山川英晃

佐藤新太郎

赤坂圭一

天野雅子

さいたま赤十字病院 呼吸器内科

要旨：

79歳男性が急性経過の両下肢痛と腫脹，発熱にて緊急入院した．下肢MRIは筋膜主体の異常信号を認めた．入院後咯血し，気管支肺胞洗浄より肺胞出血と判明，MPO-ANCA高値，筋生検の結果より顕微鏡的多発血管炎と診断された．ステロイドパルス療法後，自覚症状，炎症反応，胸部画像所見は改善し，その後ステロイド減量，免疫抑制剤追加にて病状は安定した．顕微鏡的多発血管炎は全身諸臓器に病変を来たし多彩な症状を呈するが，筋膜炎にて発症することはまれである．筋膜炎の原因として顕微鏡的多発血管炎も考慮すべきである．

キーワード：顕微鏡的多発血管炎，筋膜炎，ANCA 関連血管炎
microscopic polyangiitis , fasciitis, ANCA associated vasculitis,

短縮タイトル：筋膜炎で発症した顕微鏡的多発血管炎